

# 令和6年度 第1回 定例会見

令和6年4月24日



# ■ 定例会見（令和6年4月24日）議事次第



## 登壇者

代表取締役社長 由木 文彦(ゆき ふみひこ)  
管理事業本部長 八木 茂樹(やぎ しげき)  
サービスエリア・新事業本部長 吉見 秀夫(よしみ ひでお)

## 会見内容

1. 中期経営計画の見直し
2. 営業概要（令和5年度第4四半期）
3. 令和5年度雪氷対策状況
4. 規制内進入事故に対する取り組み
5. 点検の高度化に関する取り組み
6. 令和6年GWの渋滞予測

### 基本方針

### 当初／見直し後

ポストコロナ時代における  
グループ全体の経営力の強化

5



**持続可能な社会の実現に貢献できる**  
グループ経営力の強化

新たな日常に対応した  
誰もが生き生きと働けるワークスタイルの実現

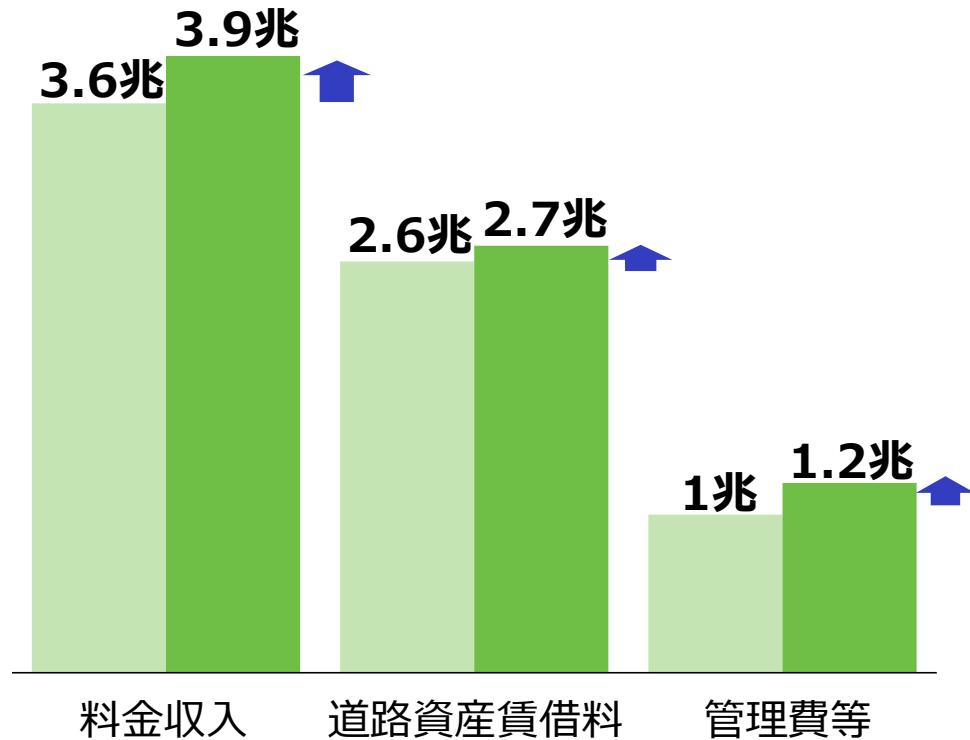
6



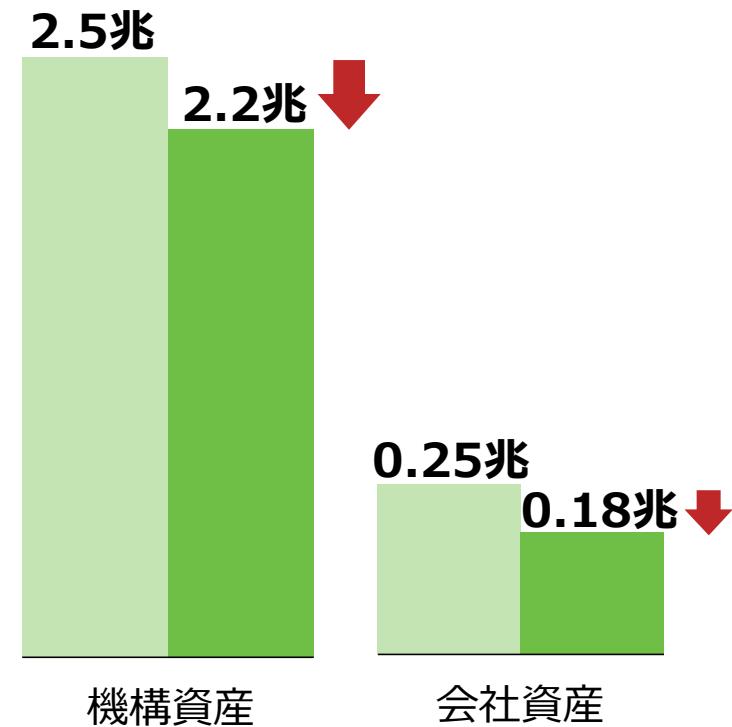
**社会の変化に対応できる人材力の強化**と  
誰もが生き生きと働ける**基盤の確立**

### 高速道路事業

#### ● 損益計画 (R3～R7年度累計)



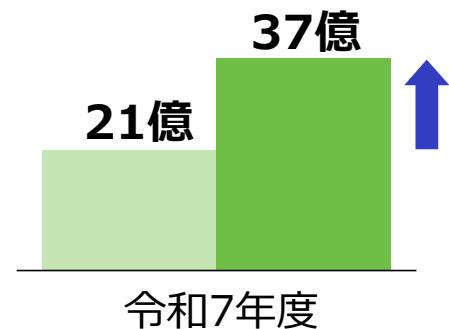
#### ● 投資計画 (R3～R7年度累計)



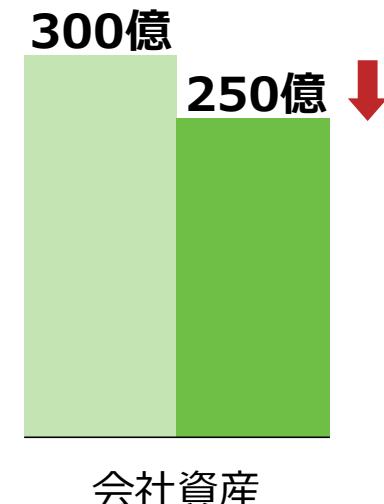
(単位: 円)  
4

### 関連事業

#### ● 損益計画（営業利益）



#### ● 投資計画（R3～R7年度累計）



(単位：円)

## 事故対策による安全性の向上

- 暫定2車線区間の正面衝突事故防止のため、土工部・中小橋梁のワイヤロープ整備を100%完了
- 整備後の正面衝突死亡事故は0件
- 長大橋梁・トンネル区間でも新技術の試行・検証

R7年度までに

**6** km 試行設置完了

本格設置に移行予定



ワイヤロープ整備

**400** km

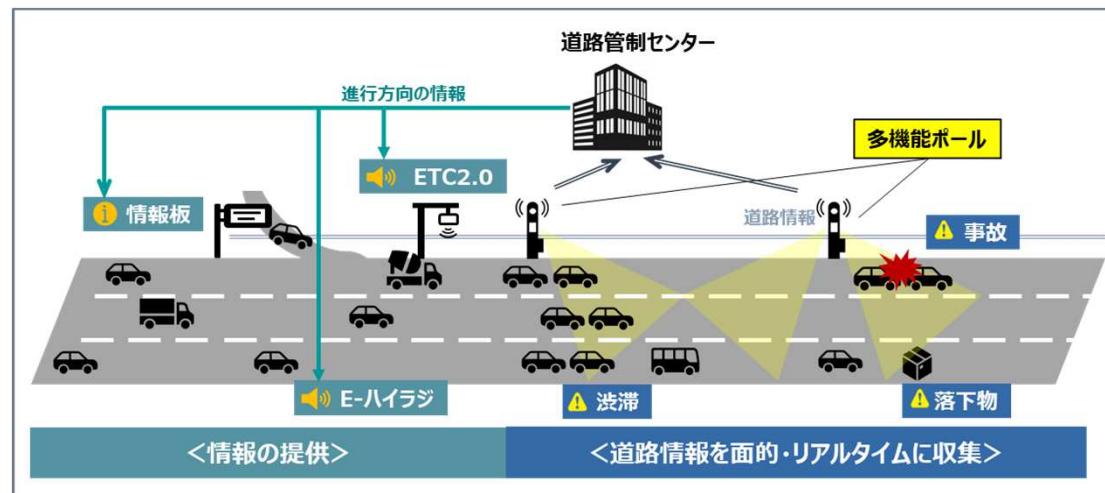
ワイヤロープ設置区間における  
正面衝突死亡事故

**0** 件

H29～R5年度

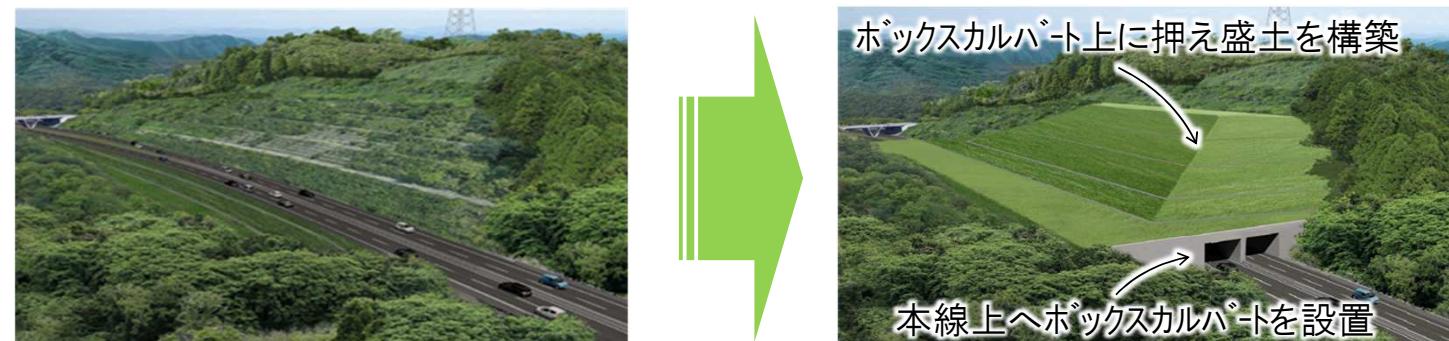
## 自動運転等のイノベーション

- 自動運転車両と非自動運転車両が混在する状況下で、安全で円滑な交通を支援するための「情報収集・提供」に関する実証実験をR8年度から実施
- 事故や落下物等の情報を収集する 「多機能ポール」を整備
- 収集した情報をアプリで提供する 「E-ハイラジ」を管内全域に拡充



### 新たなリニューアル工事

- 新技術の活用や詳細な点検により、新たに土木構造物の損傷が判明 施工期間  
**15年**
- R6.1に「新たな更新計画」を公表し、この計画を基にした新たなリニューアル工事を推進 事業費  
**約2,700億円**
- 今中期経営計画で着手（舗装路盤の高耐久化・PC橋の充填材再注入）

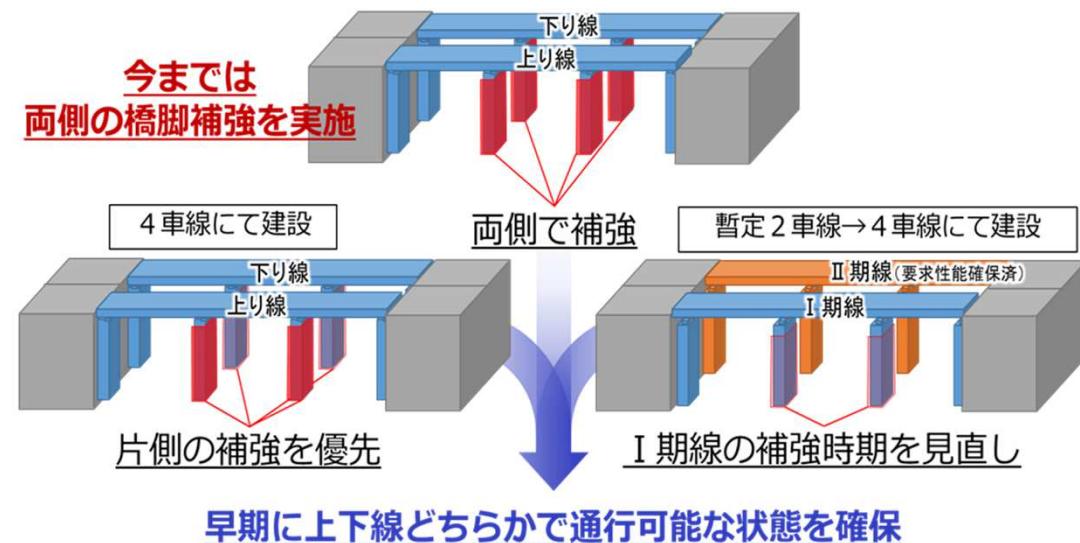


【切土区間のボックスカルバート化+押え盛土】上信越道 蓬平地区

### 耐震対策による交通機能の迅速な回復

- 落橋・倒壊を防ぐ対策は完了し、今後は速やかに機能回復させる対策を推進
- 震度6弱以上の地震発生確率が26%以上の地域で片側の補強を優先し、R12年度末までに対策を完了

R12年度末まで  
約 **400** 橋  
事業費  
約 **2,600** 億円



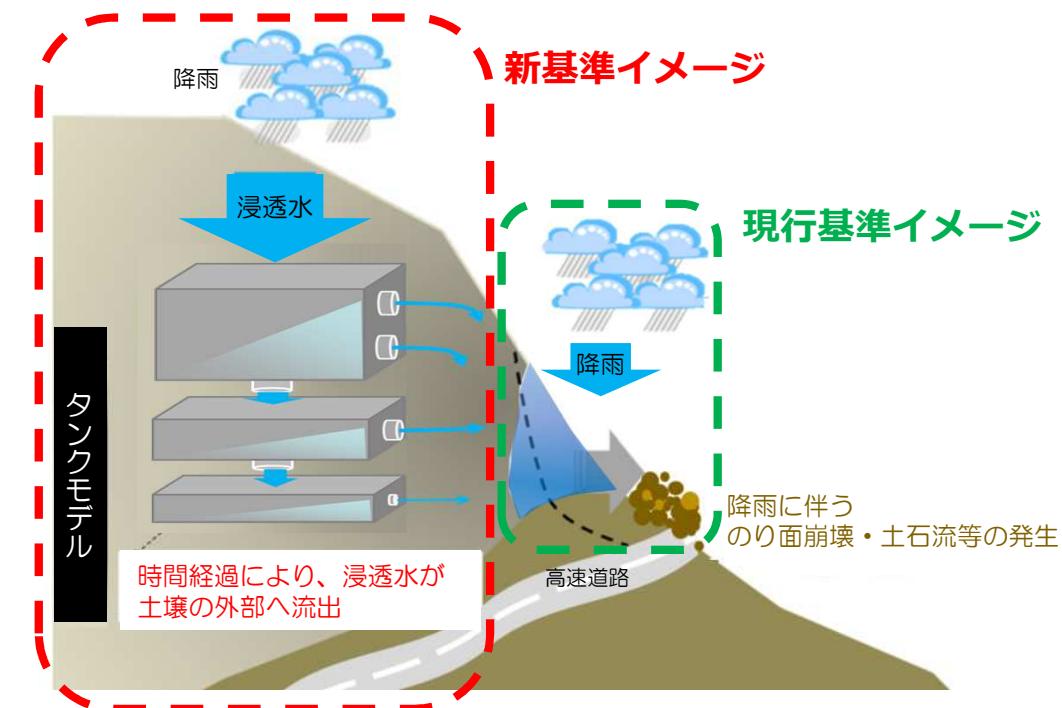
### 激甚化・頻発化する気象災害への対応

- 大雨時の事前通行止めの的確な実施による安全性の向上を目的に、通行止め基準を見直し

＜現行基準：連続雨量など＞  
地表面での降雨量の累計値



＜新基準：土壤雨量指数＞  
降雨による土壤中の水分量  
を数値化した指数



### 高速道路ネットワーク強化の検討及び整備の推進

- 企業立地の促進や物流の効率化、災害時等の交通機能確保に向け、事業を推進



圏央道の4車線化（久喜白岡JCT～幸手IC間）

«R6.3に事業化された4車線化区間»

事業区間名		延長
E38	道東自動車道	追分町 IC～夕張 IC
E46	秋田自動車道	横手北スマート IC～大曲 IC
E6	常磐自動車道	山元南スマート IC～山元 IC
E49	磐越自動車道	西会津 IC～津川 IC



新規整備（事業延長）

約 **85** km

4車線化・  
付加車線（事業延長）

約 **261** km  
(うち約**22**km完了)

### より使いやすい高速道路空間に向け、スマートIC・休憩施設の整備を推進

- 地域産業の活性や物流の効率化、  
良好な運転環境の実現に向け、整備を推進

スマートIC (事業箇所)



花巻PAスマートIC  
R6.3.20開通



坂東PA (内回り)  
R6.4.23オープン

33 箇所  
(うち10箇所開通)

休憩施設 (事業箇所)

7 箇所  
(うち坂東PA内回りオープン)

お客様のニーズや行動変化及び将来にわたる担い手確保に対応したSA・PAサービス機能の強化、拡充

- 商業施設のリニューアル等を推進
- 社会的ニーズへの対応を推進



東北道 佐野SA⑩ リニューアル



関越道 寄居PA⑩ シャワールーム

建替等リニューアル

**16**箇所

(うち**11**箇所完了)

シャワールーム拡充

**10**箇所

(うち**8**箇所完了)

### 物流2024問題 混雑対策／深夜割引の見直し

- 休憩施設の混雑対策として、**大型車・ダブル連結トラック駐車マスの整備を推進**
- 短時間限定駐車マスを30マス整備し、確実な駐車機会を確保** (R5年度実績・実証実験中)
- 割引待ちの車両滞留の解消、トラック運転者の負担軽減のため、**R6年度中を目途に深夜割引を見直し**



	R3~R5年度	R6年度
大型車	+ <b>360</b> マス	+ 約 <b>70</b> マス
うち ダブル連結	+ <b>40</b> マス	+ 約 <b>10</b> マス

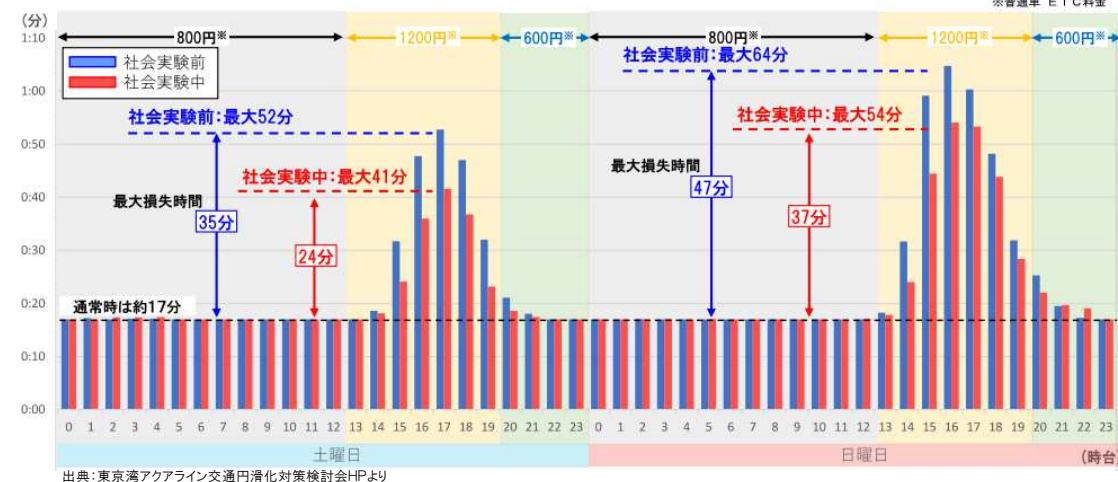


### 高速道路の利用促進及び交通分散に向けた料金の取組み

- 東京湾アクアラインにおいて、土日・祝日の特定の時間帯に交通が集中することによって激しい混雑が発生
- 混雑緩和のため、R5.7～ETC時間帯別料金の社会実験を実施中
- 交通量が分散して、渋滞による損失時間が減少

○全体交通量は増加しているものの、13時～20時の交通量が分散し、渋滞による損失時間が減少(土曜日約31%、日曜日約21%)している。

■木更津JCTから川崎浮島JCTまでの通過所要時間（上り線）



※所要時間：トラフィックカウンター計測値を基に算出(NEXCO東日本)

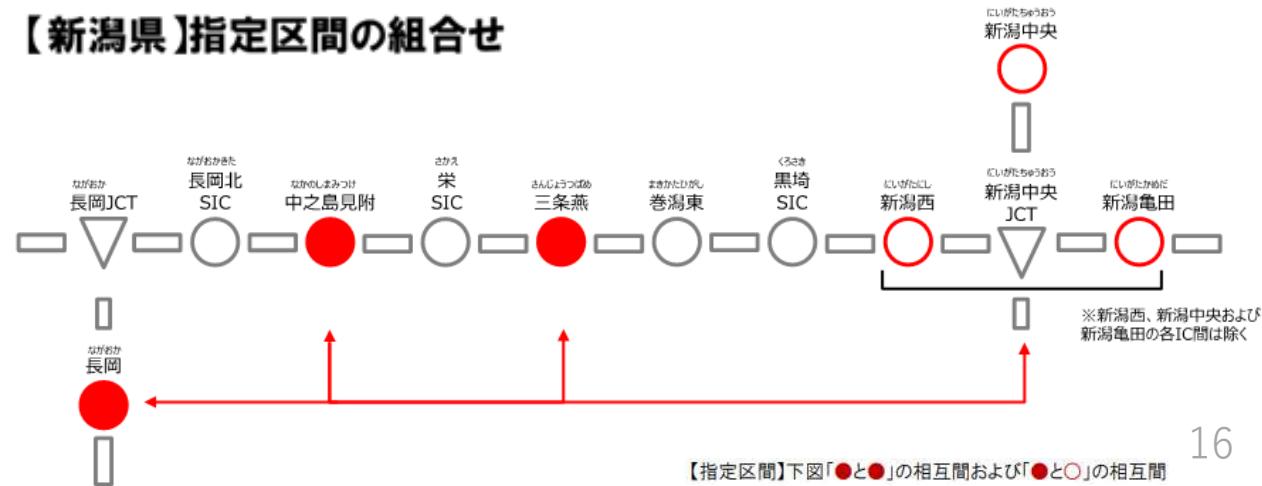
以下条件時は集計対象から除外。集計対象日は日交通量のグラフに記載

- ・通行止め及び事故・大雨（20mm/h以上）
- ・横風等による規制発生日
- ・祝日（前年と比較できないことから）

### 高速道路の利用促進及び交通分散に向けた料金の取組み

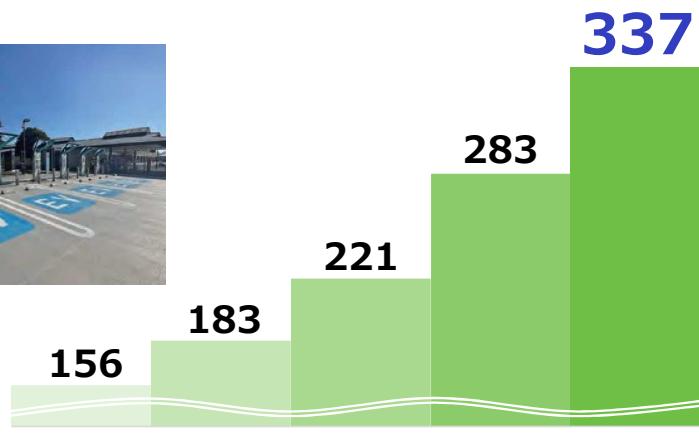
- 多様化する勤務形態への対応と高速道路の利用促進や交通分散を図ることを目的に、R6.4から「通勤バス」の社会実験を開始
- NEXCO東日本では、北海道・新潟県の一部区間を対象に実施中
- 曜日・時間帯にかかわらず1日3回まで利用可能（最大50%割引）

#### 【新潟県】指定区間の組合せ



## カーボンニュートラル推進戦略（仮称）の策定

- 令和6年度早期に策定予定
- 道路管理・道路空間を活用し、エネルギー消費量の削減や自然エネルギーを創造



急速充電器の累計整備口数（単位：口）



植物発生材を活用したバイオマスガス化発電の取組み

### NEXCO東日本 人材育成方針の策定

- 高速道路を永く維持し、進化させ続けていくには、現場力の源泉である  
人材の確保・育成が最も重要な経営課題
- 子育て期間中の配偶者との同居等の希望を叶えつつ、得意分野を伸ばしながらキャリアを形成できるよう、業務や勤務地に関する社員の希望を細やかに確認し、それに合ったジョブローテーションを実現

## 建設業の2024問題への取組み

- 建設業界団体と意見交換を行い、業務効率化・簡素化を図るルールを策定し、受発注者間で共有
- 今後も現場のニーズを踏まえ、受発注者一体となって労働環境改善に向けた取組みを継続



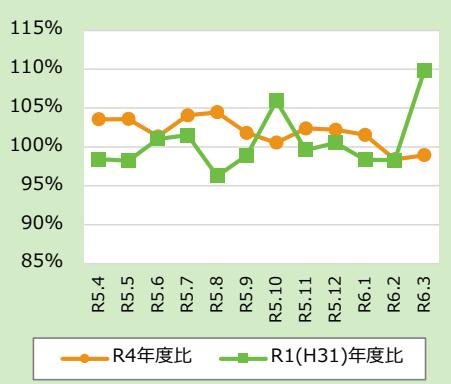
### (1) 営業の状況

#### ① 通行台数・料金収入の状況

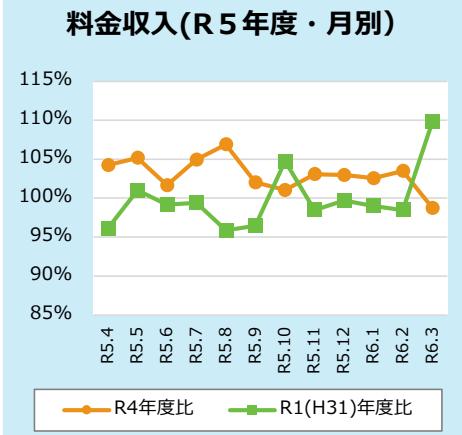
【通行台数】	台数(万台/日)	R4年度比	R1(H31)年度比
第4四半期計	281.7万台/日	99.6%	102.2%
R5年度累計	296.9万台/日	101.9%	100.5%
【料金収入】	収入(億円・税抜)	R4年度比	R1(H31)年度比
第4四半期計	1874.0億円	101.4%	102.5%
R5年度累計	8163.3億円	103.1%	99.7%

※参考値(速報)のため、料金収入の確定値とは一致しない可能性があります。

#### 通行台数(R5年度・月別)



#### 料金収入(R5年度・月別)



#### ② 車種別の走行台キロ

※高速自動車国道のみ

【第4四半期計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
R4年度比	104.2%	102.8%	99.4%	100.6%	103.9%	102.3%
R1(H31)年度比	109.7%	100.2%	97.0%	101.6%	106.7%	101.1%
【R5年度累計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
R4年度比	106.2%	104.4%	100.4%	100.7%	104.9%	103.7%
R1(H31)年度比	106.3%	95.9%	95.9%	100.8%	96.1%	97.6%

#### (2) ETCの利用率

ETC(3月)	ETC2.0(2月)
93.9%	34.9%

【関東地区 主要料金所及び路線のETC利用率】  
 関越道：新座本線 96.4% 東関東道：習志野本線 96.7%  
 東北道：浦和本線 97.3% 東京湾アクアライン：98.7%  
 常磐道：三郷本線 97.0% 東京外環道：97.1%

#### (3) SA・PAの状況

※単位：百万円

第4四半期 累計	R4年度比	R1(H31)年度比	R5年度 累計	R4年度比	R1(H31)年度比
飲食・物販	23,342	107.6%	114.7%	104,589	112.3%
GS	15,364	105.7%	120.9%	63,182	104.9%
合計	38,707	106.8%	117.1%	167,771	109.4%

【営業施設のあるSA・PA】 196カ所(SA:78、PA:118)

- 第4四半期の通行台数・料金収入は、コロナ前実績を上回った。
- 『飲食・物販部門』の売上高は、コロナの影響の低下に伴い、令和元年度・前年度とも上回った。
- 『GS部門』の売上高は、全油種計で販売数量が横ばいだったものの、単価が上昇したことで、令和元年度・前年度とも上回った。



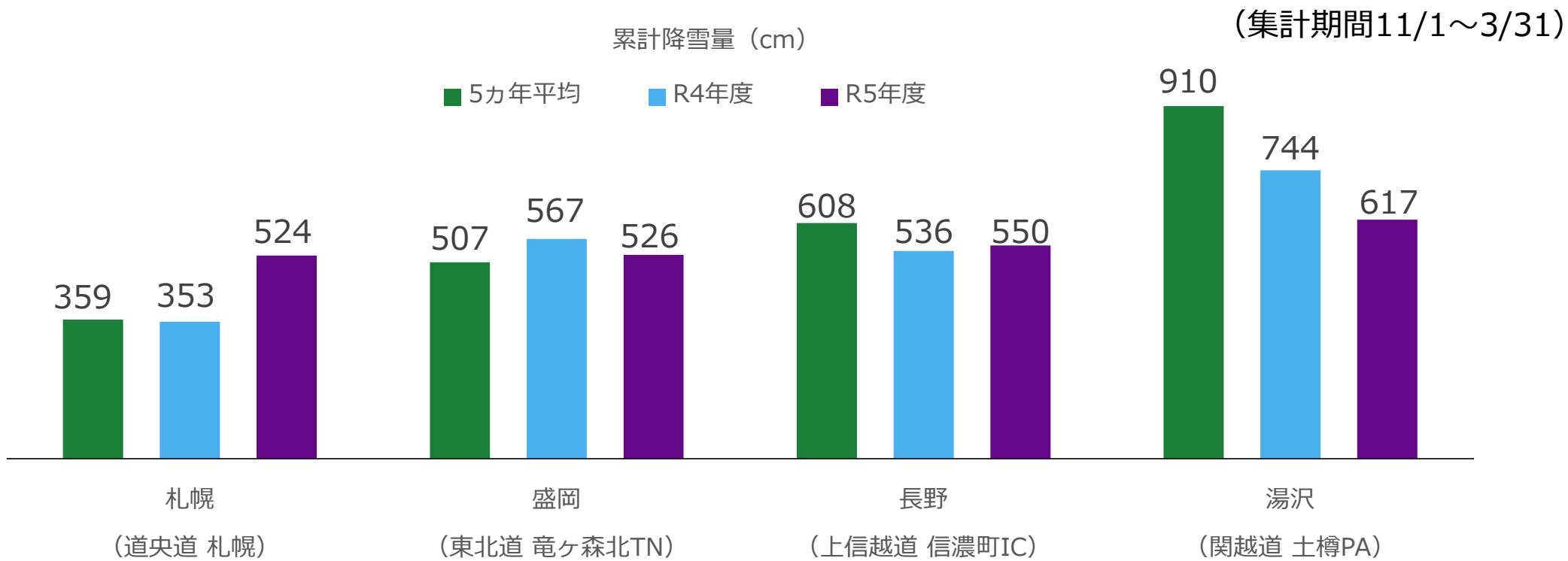
常磐自動車道 友部SA(上り線)  
「Ibaraki ~杜の詩 いや！どうも～」

# 令和5年度冬季の気象概況



## 3. 令和5年度の雪氷対策状況

- 昨年に比べ初雪が1~2週間ほど早く、例年よりも早期から雪氷作業を開始。
- 北日本の日本海側を除き、年間では昨年に比べ少雪傾向



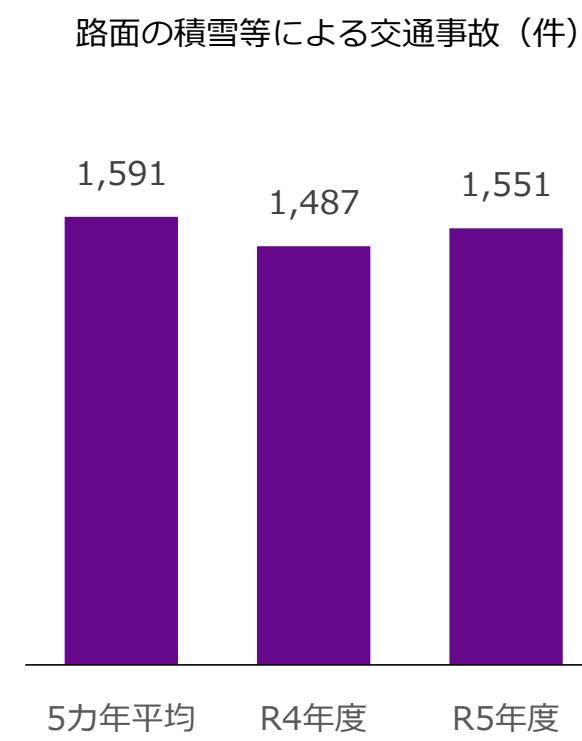
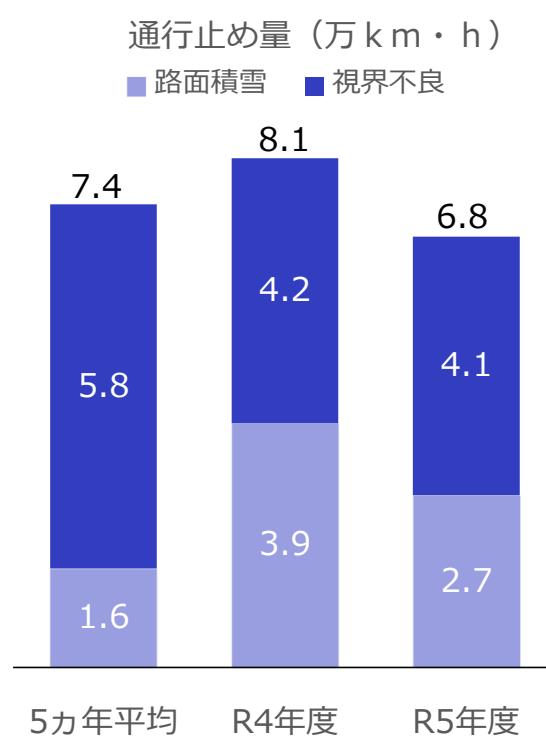
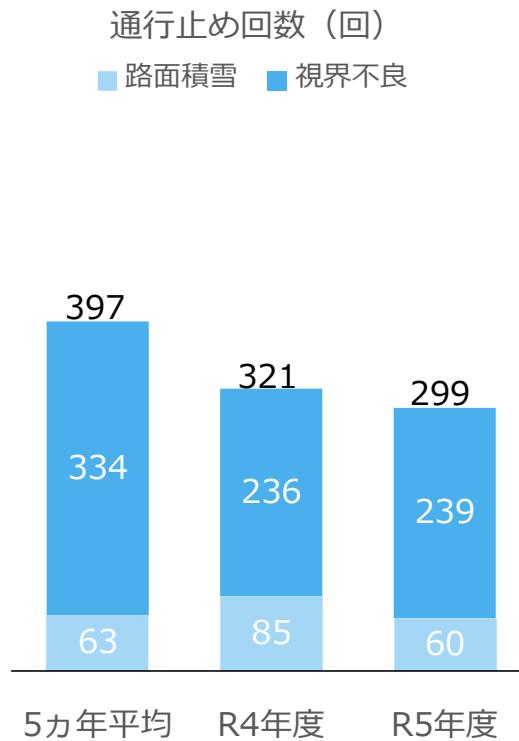
# 雪による通行止め状況



3. 令和5年度の雪氷対策状況

- 雪による通行止め回数 299回 (昨年同時期と比べて約10%減)
- 雪による通行止め量 6.8万km・h (昨年同時期と比べて約20%減)
- 路面の積雪等による交通事故件数 1,551回 (昨年同時期と比べて約5%増)

(集計期間11/1~3/31)



# 雪氷作業状況

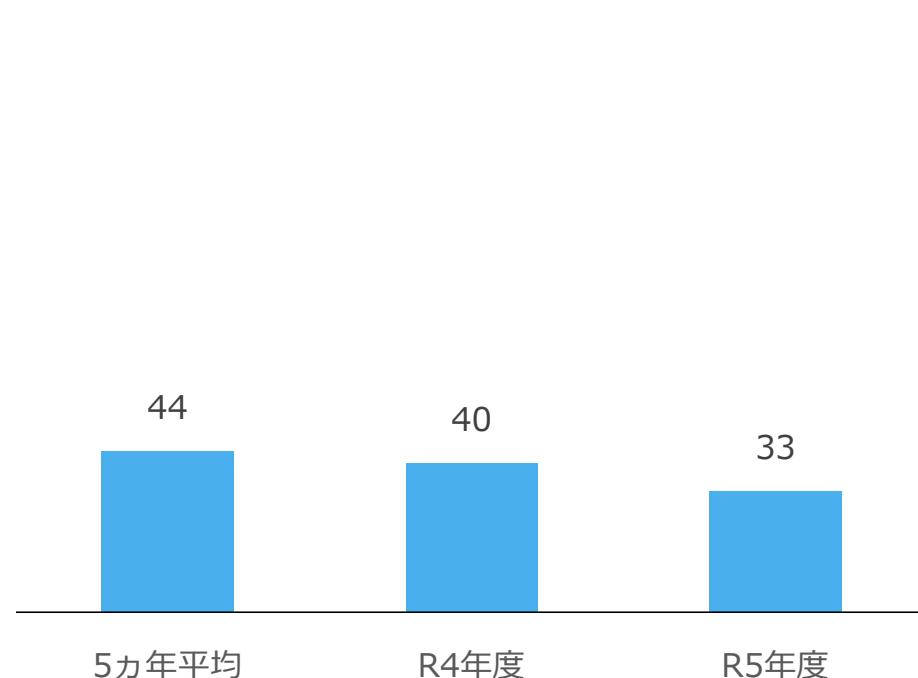


## 3. 令和5年度の雪氷対策状況

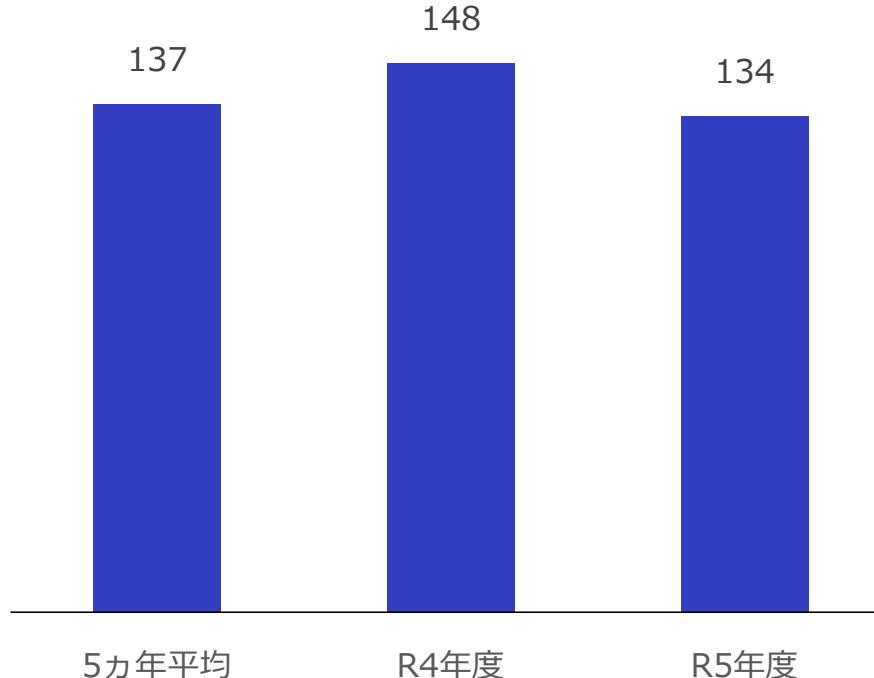
- 除雪作業延長 約33万km (昨年同時期と比べて約20%減)
- 凍結防止剤散布作業延長 約134万km (昨年同時期と比べて約10%減)

(集計期間11/1～3/31)

除雪作業延長 (万km)



凍結防止剤散布作業量 (万km)



# 首都圏を含む大規模な予防的通行止め

3. 令和5年度の雪氷対策状況

- 2月5日～6日の首都圏の大雪に対応して、**大規模な予防的通行止め**を実施  
**【通行止め延長：約1,300km（うち、NEXCO東日本管内 約420km）】**



首都圏を含む大規模な予防的通行止めの実施に対し、

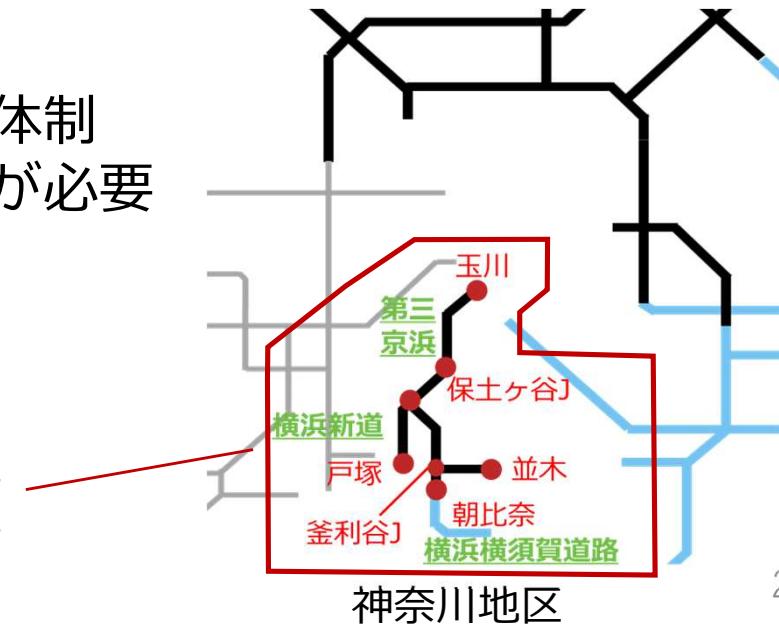
- お客様から通行止め区間や解除見込み等の交通情報に関する  
**6,000件を超える問合せ**

⇒お客様への周知について、より効果的な広報の検討が必要

- 神奈川地区において、**通行止め解除の遅れ**

⇒除雪資機材等の事前準備、他地区からの応援体制の見直しなどにより、通行止め解除の早期化が必要

他地区から臨機な除雪応援等が困難  
(近隣の事務所と接続していない)



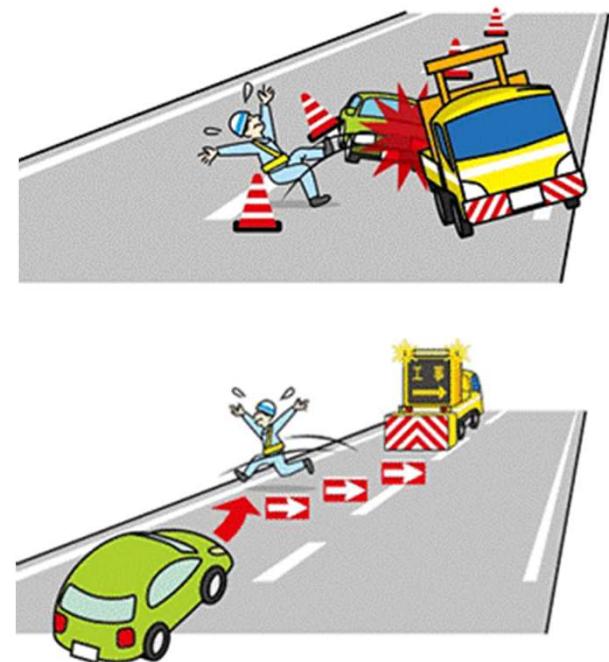
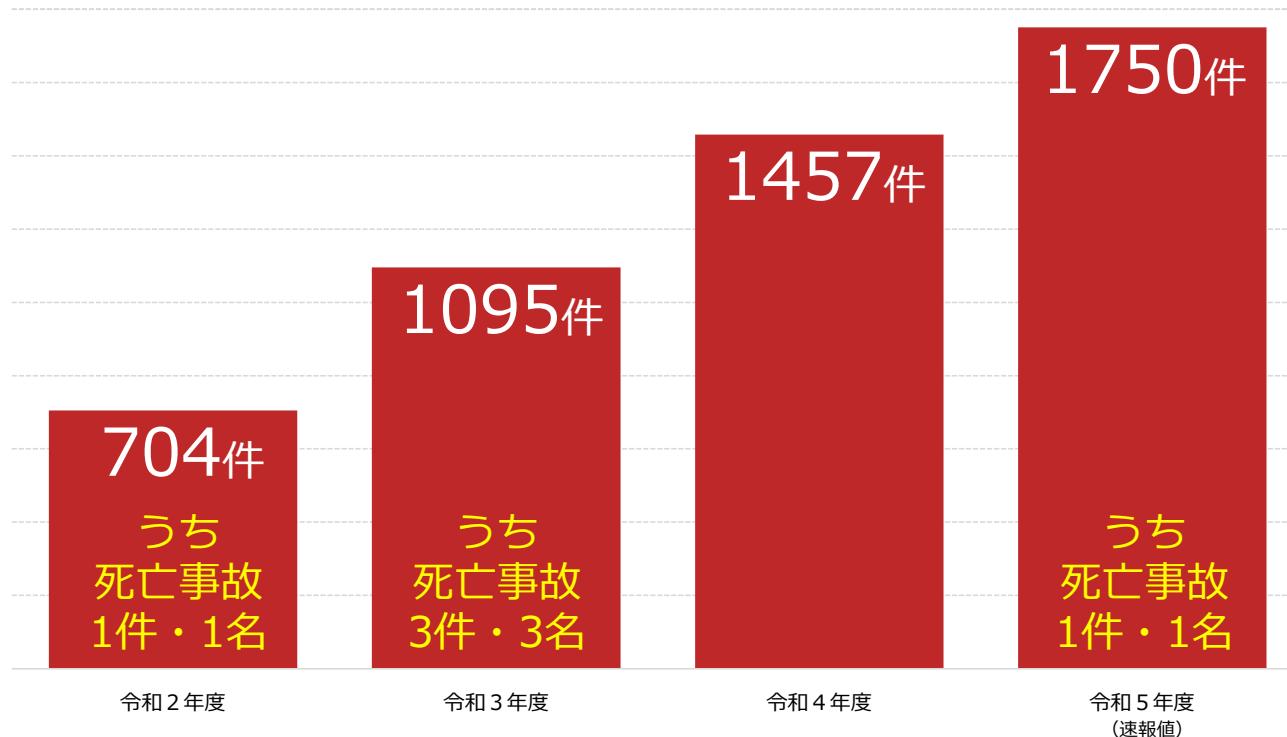
# 発生状況と事故原因

## 4. 規制内進入事故に対する取り組み



- 高速道路上での工事規制内へ車両が進入し、作業員が被災する等の**事故の件数は年々増加傾向**にあり、作業員が死亡する事故も発生。

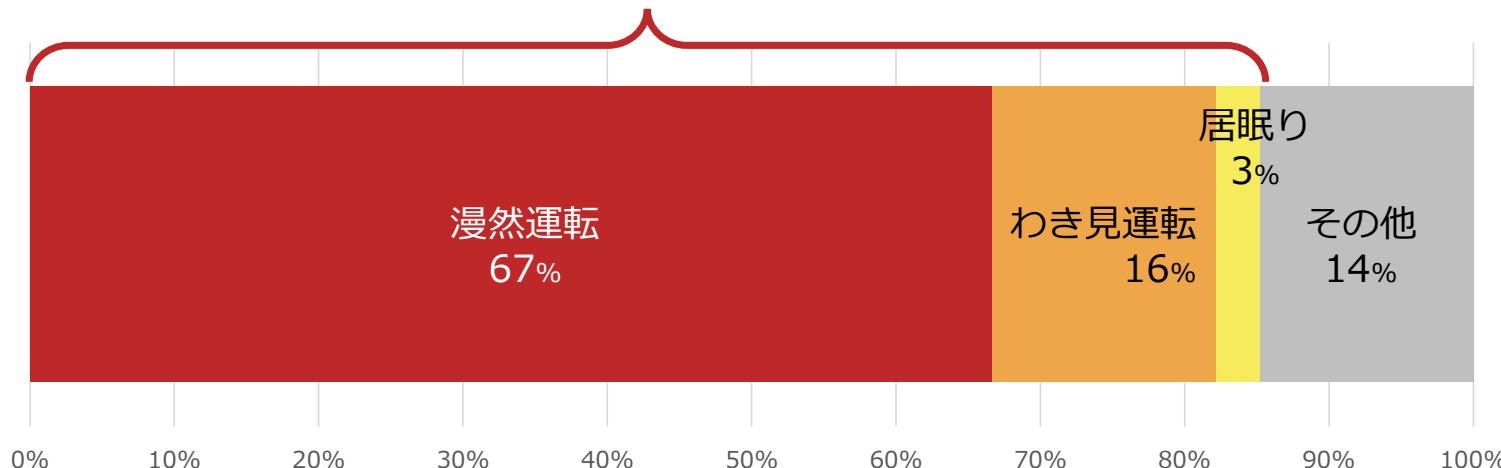
### □ 工事規制内への車両進入事故件数の推移 (NEXCO 3社計・年度計・NEXCO調べ)



- 事故原因は漫然運転などの『前方不注視』によるものが9割であることが判明。

## □ 工事規制内進入事故の原因

事故原因の約9割が『前方不注視』



※平成30年1月から令和4年12月までの5年間の分析結果 (NEXCO 3社調べ)

※その他:ハンドル・ブレーキ操作不適当、速度超過、スリップ、横風などが原因の事故

# 事故防止対策

## 4. 規制内進入事故に対する取り組み



- 漫然運転などの『前方不注視』に対する取組みとして、**音や振動等で体感に訴えかける対策**をNEXCO 3社で連携して推進。

### □ 音で体感に訴えかける対策の例 (製品名: ウルトラソニックインパクト)

- 指向性の高い超音波が走行車両のボディに当たり、直接運転者に警告音が届くことで注意喚起を行う技術



【動画】ウルトラソニックインパクト



## 交通安全啓發活動

#### 4. 規制内進入事故に対する取り組み



- NEXCO 3社で連携し、HPやチラシ等で安全啓発広報の実施。

## □ 広報物（チラシ・パンフレット）

- 工事規制箇所通行時の注意点などを示した広報物を作成



## □ 会社HP

- 動画コンテンツや工事規制箇所通行時の注意点などを掲載

NEXCO東日本「企業HP」 NEXCO東日本「ドラとら」



## □ ラジオ広報

- FMラジオの番組及びスポットCMで、規制内進入事故防止の放送を実施。(FM横浜・Nack5・bayfmの3社で実施。)



## これまでの橋梁点検と鋼橋における点検の課題

### 5.点検高度化に関する取り組み

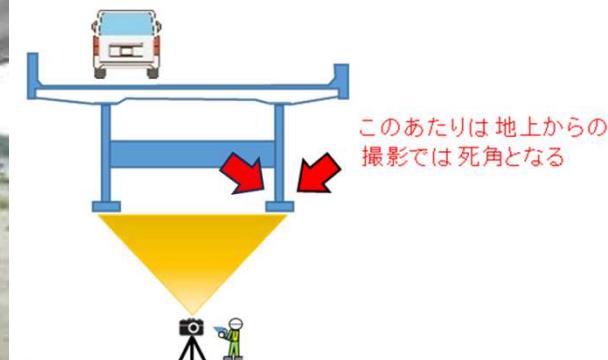


- 橋梁点検においては高所作業車や点検用足場を使用して、近接目視を実施
- また、近接目視と同等の情報が得られる方法として、高解像度カメラを活用

**課題** 点検足場や点検用車両では、河川上などでは点検に時間とコストがかかる  
高解像度カメラの地上からの撮影では死角が生じる場所がある



高解像度カメラの活用



地上からの撮影による死角

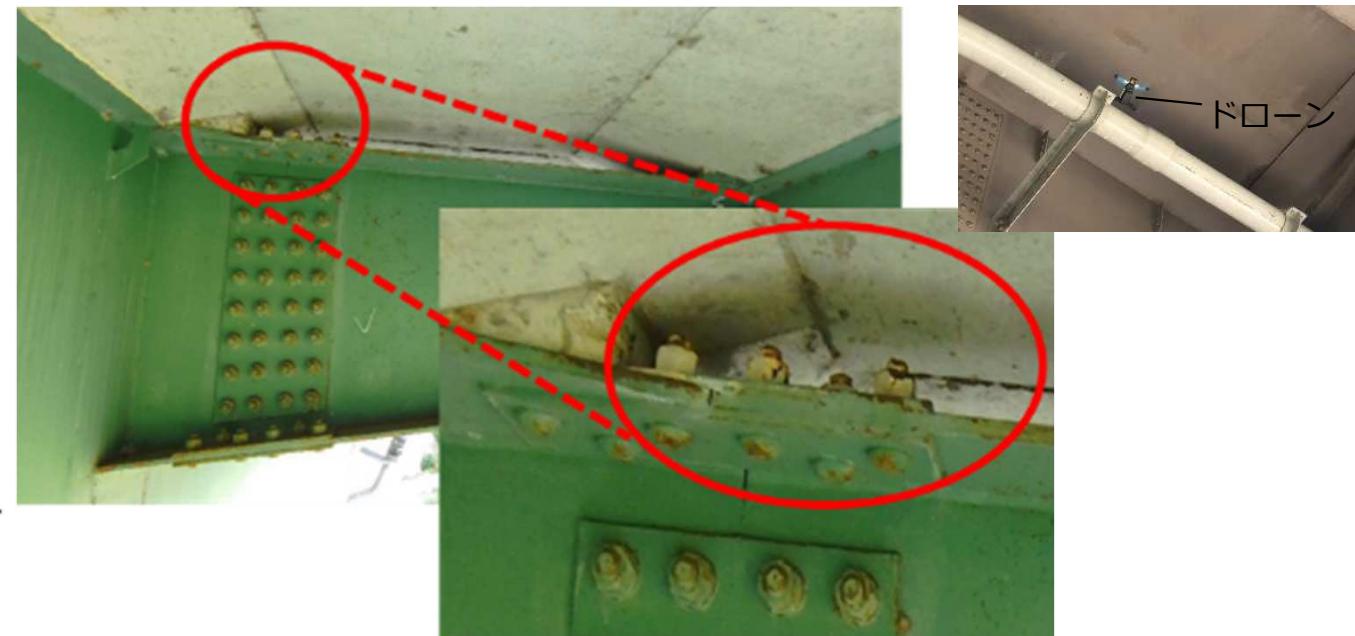
点検用車両による点検

**課題解決のため、ドローンによる撮影動画を活用した点検を導入**

**【動画】ドローンによる点検**



- 河川上への進入・近接がドローンでは容易。
- 点検用足場や点検用車両が不要、合わせて点検時の本線交通規制も不要。
- 高解像度カメラでは死角になってしまい箇所も点検が容易。



近接しづらい箇所での損傷確認（ドローンによる画像）

- 高橋脚では、橋梁点検車・高所作業車でも近づくことができない範囲を、ロープアクセス又は足場設置にて点検を実施。

**課題** **点検員の作業安全性**  
**足場設置撤去による作業時間の増**



ロープアクセス点検 実施状況

課題解決のため、ロボットを開発し、新たな点検手法を導入

- コンクリート壁面に吸着しながら昇降走行し、先端に取り付けた機器で打撃及び集音を行うロボット。
- ロープアクセスに比べ**作業の安全性の確保**、足場設置に比べ**作業時間の短縮**が期待される。



# 【動画】壁昇降式ロボット



- 渋滞回数は昨年よりも**増加！**  
昨年は荒天による出控えの影響などを受けていた。

渋滞回数（上下両方面・10km以上）



集計対象期間

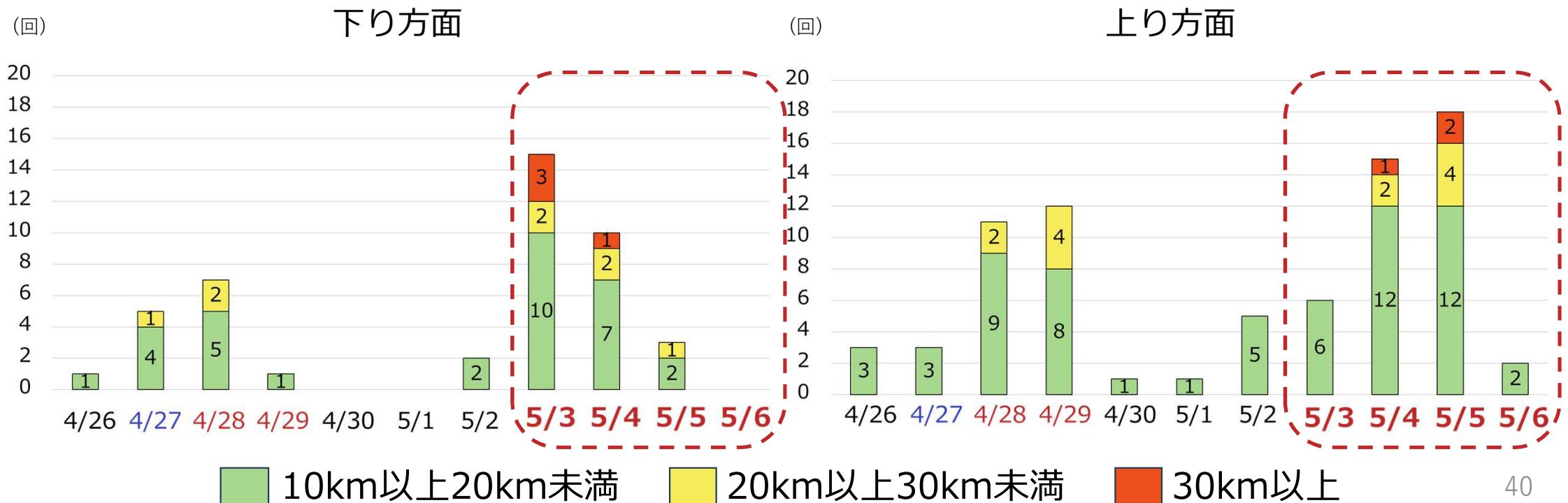
令和6年 4月26日(金)～5月6日(月) 11日間

令和5年 4月27日(木)～5月7日(日) 11日間

39

- 上下両方面ともに**後半4連休**に注意！

渋滞回数 (10km以上)



# 下り方面ピーク日：4連休初日 5/3

## 6. 令和6年GWの渋滞予測

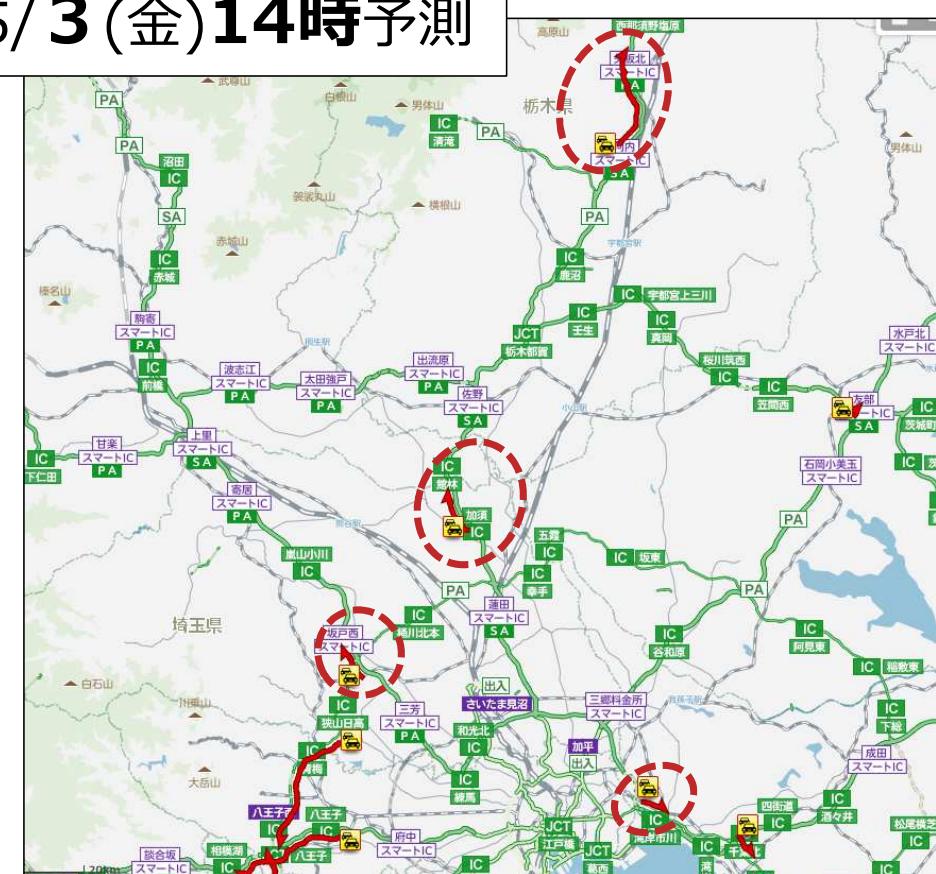


- 4連休初日は早朝からお昼過ぎまで渋滞が続く。

5/3(金) 9時予測



5/3(金) 14時予測



下り方面は前日の移動が狙い目！？

6. 令和6年GWの渋滞予測



● 下り方面はピーク日前日5/2がおすすめ。

● ただし東北道と関越道では夜の渋滞発生を予測しているため夕方がおすすめ。

5/2(木)18時予測



5/2(木)23時予測



# 上り方面ピーク日：こどもの日 5/5

## 6. 令和6年GWの渋滞予測



- こどもの日もお昼ごろから夜まで渋滞が続く。
- 渋滞が比較的落ち着く**連休最終日5/6**がおすすめ。

5/5(日)16時予測

要注意！

加須IC付近  
最大30km

高坂SA付近  
最大40km



5/6(月)16時予測

おすすめ！



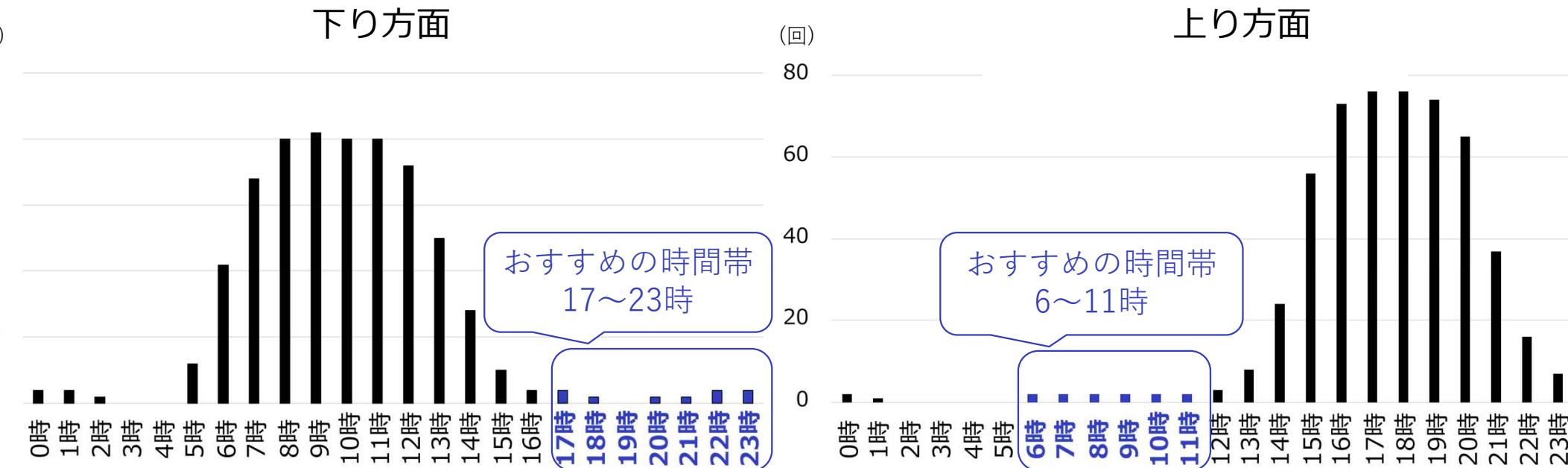
# 時間をずらすのも有効！

## 6. 令和6年GWの渋滞予測



- 混雑する時間を避けたご利用を！
- 下り方面は**夕方～夜**、上り方面は**早朝～午前中**の移動がおすすめ。

時間帯別延べ渋滞回数



延べ渋滞回数：関東支社管内において、10km以上の渋滞を各時間帯ごとに集計したもの  
集計期間：令和6年4月26日(金)～5月6日(月)

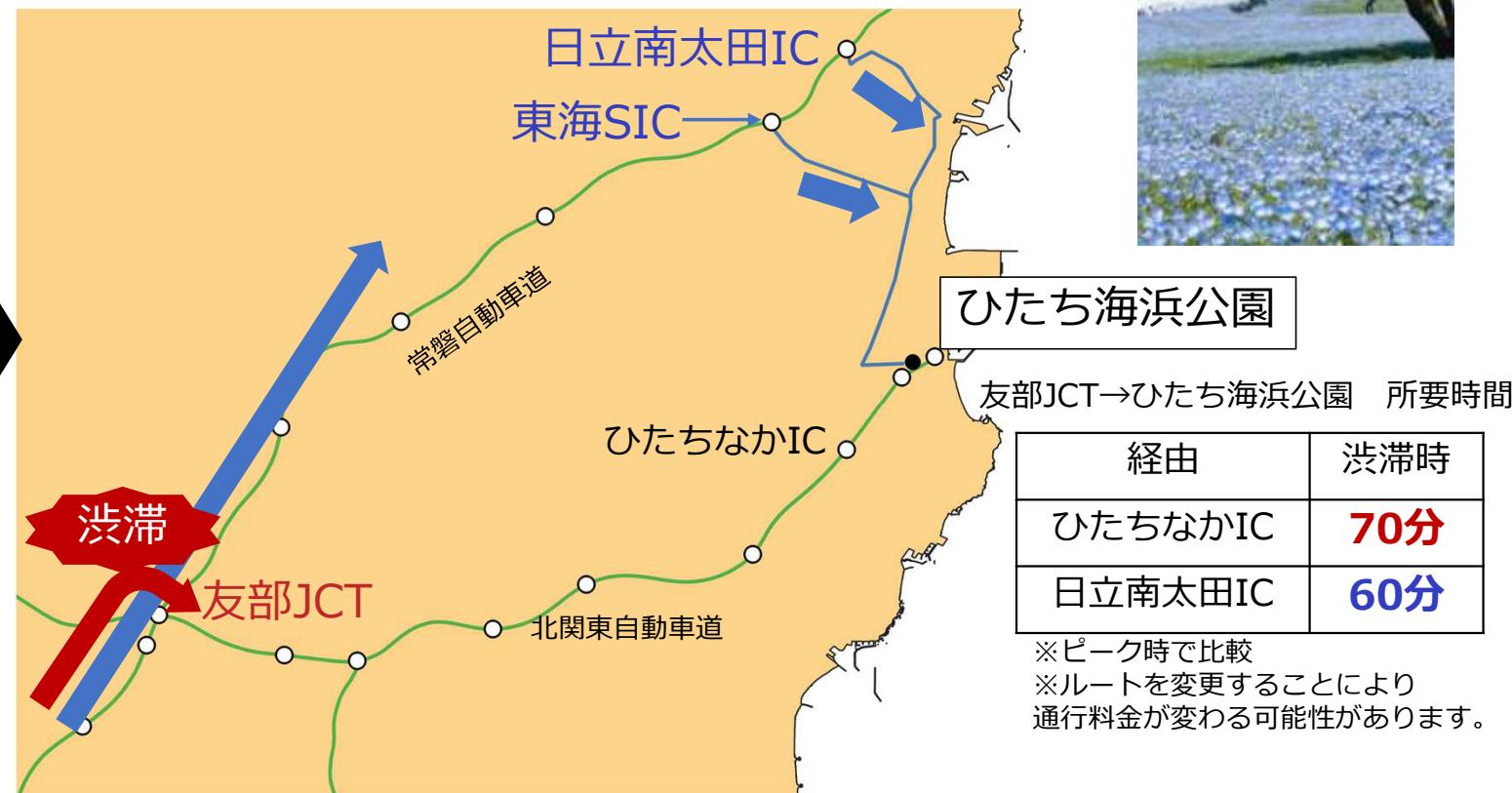
# GW特有のネモフィラ渋滞に注意

## 6. 令和6年GWの渋滞予測



- 常磐道(下り) **友部JCT**の**北関東道分岐部**が渋滞します。
- 渋滞時は、友部JCTを通過し**東海SIC**・**日立南太田IC**のご利用を。

ひたちなか・大洗方面へお出かけの皆様へ!



※ピーク時で比較  
※ルートを変更することにより  
通行料金が変わることあります。

- 今年は**GW**に**見頃**の予報。  
昨年は2~3月の気温が高かったこともありGW前に見頃が終わっていた。
  - **前半3連休**は**常磐道・北関東道**の渋滞に要注意！

### ネモフィラ開花予想 (4/10時点)

出典：国営ひたち海浜公園HP

<https://hitachikaihin.jp/forecast/forecast-nemophila/>

# 羽田空港をご利用の方は注意！

## 6. 令和6年GWの渋滞予測



- アクアライン（下り）から首都高湾岸線まで延びる**ノロノロ渋滞**に注意！
- 東京方面から羽田空港のご利用は、**羽田線 空港西出口**のご利用の検討を。

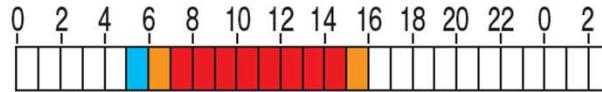


速度1/3以下

### 5/3(金) 予測

○首都高湾岸線(西行き)大井JCT付近まで延伸

渋滞発生予測時間：5時～16時



予測渋滞長：最大19km

渋滞通過時間：最大約3時間20分

**約6km/hのノロノロ渋滞**

### 5/5(日) 高坂SA付近予測

渋滞発生予測時間：13時～翌1時



予測渋滞長：最大40km

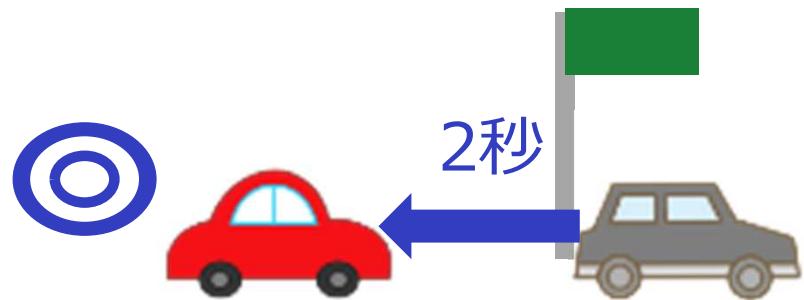
渋滞通過時間：最大約1時間20分

**約30km/h**

※ルートを変更することにより通行料金が変わる可能性があります。

※天気・事故等の影響により、実際の交通状況と異なる場合があります。お出かけの際は最新の交通情報をご確認ください。

- **混雑**している時は**車間時間 2秒**で事故・渋滞をWで予防できます！
- **標識**や**照明**などを目印に数えると簡単です！



※大型車等においては車間時間3秒以上をとってください  
※空いているときは約4秒以上の十分な車間距離をとってください

### 事故予防

・・・約2秒は、周りに合わせて走行している時、前の車に追突しないための“車間時間”です。

### 渋滞予防

・・・適度な車間がクッションの役割を果たし、後続車へブレーキが伝わるのを防ぎます。  
また、前の車と間隔を空けすぎないことで、通過できる車の台数が増えます。

# 特設サイトや予報ガイドの活用を！

## 6. 令和6年GWの渋滞予測



### ● 交通混雑期特設サイト⇒



### ● 渋滞予報ガイド

